

最高の仲間と最高の青春を



試合結果

浦和学院	202	101	014
大宮西	020	001	000



それ西高！
氣合を入れていい出陣

吉田君は「負けてしまいまし
たが、応援の力もあり、やり切
れて良かったです」と語った。
寺尾君は「試合中にリードされ
ても最後まで諦めないで、試合
に臨めました」と話した。田波
君は「全国へいっている投手を
困らせることができ、日頃の成
果を発揮できました」と話して
くれた。小原君は「相手が浦學
ということで初回は緊張しまし
たが、初回以外は開き直ってブ

続く二回裏には先頭の田波君がセンター前ヒットで出塁し、中野君のバントを投手が二塁に投球したが間に合わず、返された。チャンスが広がった。続く星川君の送りバントで一アウト二、三塁となり、寺尾君のレフト前ヒットで一点を返された。西高の攻撃は一番吉田君が左中間を破る二塁打で出塁したが、チャンスを生かせなかった。

三回表には浦学の三番津田君に二ランホームランを打たれ、点差は再び二点となつた。その後、西高はチャンスを作るものの得点には至らず、逆に浦学に小刻みに追加点を許した。四点差で迎えた六回裏、星川君が一アウトから三遊間を破るヒットで出塁し、続く寺尾君のライト前ヒットで相手の選手がボールを援よろしくお願ひします」と話した。

主将の長岡君は「選抜ベスト4の相手と互角に戦えて嬉しかったです。かけがえのない仲間と最後まで自分達の野球を貫けて良かったです。応援に来てくださいました。これからも後輩達が伝統を引き継いでいくので、応援よろしくお願ひします」と話した。

吉田君は「負けてしまいましたが、応援の力もあり、やり切れて良かったです」と語った。寺尾君は「試合中にリードされても最後まで諦めないで、試合に臨めました」と話した。田波君は「全国へいっている投手を困らせることができ、日頃の成果を発揮できました」と話して

激闘末、3対11で敗北

一回表、浦学にノーアウトで三塁打を打たれた後、四球、死球によりノーアウト満塁となり、押し出しの四球で一点を先制された。さらに犠牲フライで一点を失つた。その裏の西高の攻撃は一番吉田君が左中間を破る二塁打で出塁したが、チャンスを生かせなかった。

続く二回裏には先頭の田波君がセンター前ヒットで出塁し、中野君のバントを投手が二塁に投球したが間に合わず、返された。チャンスが広がった。続く星川君の送りバントで一アウト二、三塁となり、寺尾君のレフト前ヒットで一点を返された。西高の攻撃は一番吉田君が左中間を破る二塁打で出塁したが、チャンスを生かせなかった。

三回表には浦学の三番津田君に二ランホーミランを打たれ、点差は再び二点となつた。

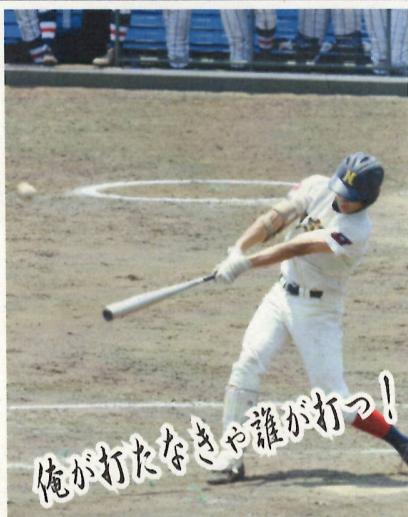
その後、西高はチャンスを作るものの得点には至らず、逆に浦学に小刻みに追加点を許した。

四点差で迎えた六回裏、星川君が一アウトから三遊間を破るヒットで出塁し、続く寺尾君のライト前ヒットで相手の選手がボールを



編集・発行
大宮西高校新聞部
H27.7.13
No. 962

7月12日（日）さいたま市営大宮球場にて、高校野球埼玉大会2回戦の大宮西VS浦和学院が行われ、3-11で敗退した。



出場	投	捕	一	二	三	遊	左	中	右	補
海斗君 (3-5)	河井 俊介君 (3-6)									
健君 (3-2)	佐々木 俊介君 (2-4)									
篤志君 (3-2)	豪樹君 (2-2)									
洸樹君 (3-3)	翔太君 (3-6)									
竹男君 (3-7)	拓磨君 (3-2)									
義広君 (2-3)	暉太君 (2-5)									
孝洋君 (3-7)	将祥君 (3-4)									
大洋君 (2-3)	希平君 (3-4)									
輝君 (3-5)	瑠平君 (3-5)									
	俊貴君 (3-1)									
	亮祐君 (2-6)									

レーすることができました」と話してくれた。中島君は「格上の相手だからこそ攻めに入りました。多くの試合に出させてもらって養った知識と経験をこれから生かしていきたいです」と話した。また応援団長を務めた鈴木将司君（3年）は「結果的には負けましたが、全員で一つになれて良かったです」と話した。

鈴木久幹監督は「プレーの中に油断も見られましたが、浦学を苦しめるほど自分達のプレーができていました。この一年間で色々なチームと練習し、すごく成長したと思います。伸び率は一番。本当によく頑張りました」と話してくれた。

今回の試合で野球部とバトン部の3年生は引退となる。熱い試合を繰り広げた野球部、バトン部先生方、保護者の皆さん、本当にお疲れ様でした。

吉田君は「負けてしまいましたが、応援の力もあり、やり切れて良かったです」と語った。寺尾君は「試合中にリードされても最後まで諦めないで、試合に臨めました」と話した。田波君は「全国へいっている投手を困らせることができ、日頃の成果を発揮できました」と話して